

今号の表紙に使用している画像は、小川和紙の「雲龍紙」です。楮コウの長い繊維を混ぜて漉きあげます。障子に使われると外の光を通してとても美しく見えます。

特集

P.2

「待ったなし！」 92の 公共施設

議員の

P.16

聞く × つなぐ

成人式実行委員会


14人の声



どんな景色が待っているんだろう？ ワクワク♪ (裏表紙もご覧ください)

No.94 あがき 2020 冬号

12月定例会



埼玉県小川町議会

各ページ下にも
町のみんなから
ひとこと！



わたしのひとこと「だから小川が好き」

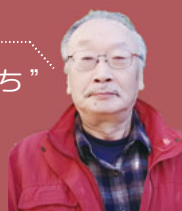
P.15



宮寺麗子さん
もっと発信して、
元気な小川町に

小出文男さん

“道の駅おがわまち”
に対する期待



P.6

一般質問に 13人が登壇

議員のつぶやきにも注目

時代の変化に対応した運営に期待

当町の公共施設については、平成27年3月に策定された小川町公共施設等総合管理計画により、平成27年度から令和26年度までの30年間、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行い、財政的な負担軽減・平準化・最適な配置を実現することになっています。

このページでは、注目度の高い公共施設をピックアップ！ ぜひ、ご覧ください。

公共施設等総合管理計画の基本方針

- ①施設量適正化の推進
- ②長寿命化の推進
- ③適切な施設配置と民間活力導入の促進

議会が注目した4つの公共施設 維持費と利用状況

リリック大ホール

竣工年度：昭和57年
 年間維持費(※)：約1500万円
 (平成26年度～30年度の人件費・光熱水費の平均)
 利用者数：1万6585人(平成29年度)



空調・音響等の更新が必要な時期に来ているが…文化の拠点はどうなるのか

町立保育園(3園)



将来の年少人口の推移を見据え、民営化や複合化ができるのか

竣工年度：昭和58年～平成2年
 年間維持費(※)：約2億6800万円
 利用者数：5万4909人(平成30年度)

学校給食センター



設備が老朽化しているため、新しいメニューの考案に支障が出ている

竣工年度：昭和55年
 年間維持費(※)：約1億4600万円
 総食数：36万2123食(平成30年度)

埼玉伝統工芸会館



「和紙による活性化」の拠点にするためのリニューアルが本当にできるのか

竣工年度：平成2年
 年間維持費(※)：約4800万円(指定管理費等)
 利用者数：約3万9000人(平成30年度)

(※)年間維持費については、人件費を平成27年度～29年度の町職員平均単価により、施設運営及び維持管理に携わる人数を乗じて算出しているため、決算額とは異なります。

5つの課題と議会が質す6つのこと

課題 少子高齢化・人口減少・利用者の減少・税収の減少・維持費の増大



コストの削減はしたか

職員の意識改革は

用途転用を検討したか

議会はこちらをチェック!!

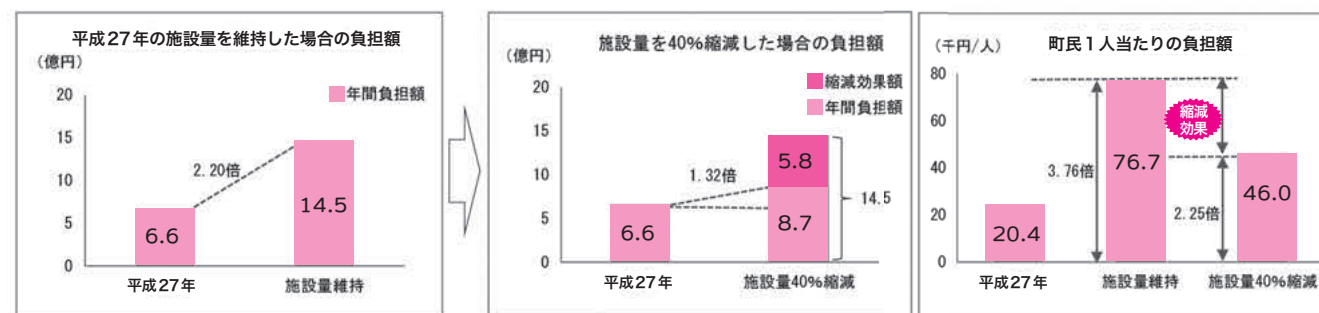
委託先の検証はしたか

使いこなしているか

民間活力を導入したか

公共施設総量(面積)に対する負担額

92の公共施設は、「社会・福祉施設、子育て支援施設、学校教育施設、公営住宅、行政施設、供給処理・公園施設」に分類されています。下のグラフは、30年間で公共施設総量を40%縮減した場合の負担額を示したものです。



現状のまま維持した場合、30年後には14億円以上の負担額になる。

30年間で40%縮減した場合、5億8000万円縮減できる見込み。

現在1人当たりの負担額は2万円。縮減できた場合でも、30年後には約4万6000円の負担見込み。

12月定例会 質疑から Pick up!

12月定例会（11月29日～12月12日の15日間）では、今後のごみ処理場をどのように進めるのか分岐点となる「埼玉中部資源循環組合の規約変更について」など19議案が上程され、すべて原案のとおり議決しました。また3件の請願審査はすべて不採択となりました（14ページ参照）。

Main question Pick up

条例に関する質疑

下水道の 公営企業会計化①

Q 総務大臣の通知により、下水道事業特別会計と農業集落排水事業特別会計に、公営企業会計が適用されるが。

A 将来にわたり持続可能な上下水道等の経営を確保するため、会計方式を変更し、経営の健全化と効率化につなげるものです。

伝統工芸会館

Q 指定管理の期間が1年になった理由は。また、埼玉伝統工芸協会との協議は。

A 令和2年度以降、施設のリニューアルを行い、和紙による

活性化計画に基づいた取り組みを本格的に実施するための1年にしたい、と考えています。

協会とは事業を含めた協議をしており、今後も協力して会館を運営していきます。

可燃ごみ処理施設

Q 町議会では（おがわぎかい93号）、埼玉中部資源循環組合の解散を示唆した内容を掲載した。組合の動向は、どのように町民へ周知していくのか。

A 「新ごみ処理施設だより」で、解散に至るまでの経緯を説明します。ごみ処理は一日足り

とも止めるわけにはいきません。組合の解散により生じる当町の

可燃ごみ処理については、町広報等でお伝えしていきます。

令和元年度 一般会計補正予算に関する質疑

災害支援寄附金

Q 97万9000円の多額の寄附があったようだ。

A 公共施設に設置した寄附金箱、ふるさと納税による寄附を10月末日集計し、予算に歳入しました。現在も寄附を受け付けています。

橋りょう維持事業費

Q 国庫補助金が減額となっているが、今年度事業の進捗は。

A 現在、橋りょうは5年に一度の法定点検を実施しています。落合橋（腰中）、石塚橋（勝呂）の補修設計を予定しています。中央陸橋耐震補強工事、古寺68号橋の補修工事は発注済みです。また、池田歩道橋の補修工事も予定しています。



解説 公営企業会計①

収入や支出を含めた財産の増減を、発生時点で全て記録する民間と同様の複式簿記による会計方法のこと。貸借対照表や損益計算書等の財務諸表の作成を通じて、経営状況や資産状況を可視化することができる。

小川町議会 会議録

12月定例会の会議録は議会HPで、2月末頃から閲覧可能です



憩いの場所、栃本親水公園の南側のフェンス。この度の台風19号で被災した各地域の一日も早い復旧を心より願っています。



台風19号等災害復旧

AQ 被害状況と災害復旧対応は、主な被害状況は、
【農業用施設】
小規模復旧工事が50件、水路土砂堆積、のり面の崩壊、洗掘復旧です。9月11日の落雷に伴

う揚水機の配電盤の修理代、奈良梨・下横田揚水機場のフェンスの倒壊による補修で1600万円です。
【農地災害】
八和田地域で市野川の溢水・越水による圃場堆積の稲わら撤去処理費が100万円です。

【林道施設】

路肩の崩壊、土砂流出の積み上げ49件分、林道栗山線路肩の崩壊、天久線山腹崩壊で6900万円です。

【公園施設】

栃本親水公園の南側フェンスの復旧工事、多目的広場の防草砂利の流出による補修工事870万円です。

【観光施設】

下里の観光トイレの修理代、官ノ倉山のハイキングコース天王池奥側、笠原北向き不動周辺道路の補修で396万円を予定しています。

マイナンバーカード

Q 取得者拡大に向けての対策は。

A 町の普及率約14%（令和元年12月1日現在）を計画的に引き上げるために、交付体制の整備や普及促進に取り組んでいくよう国から通知がありました。申請時来庁方式、交付時来庁方式に加え、今後は出張方式を導入するためにデジタルカメラや背景スクリーンを購入予定です。

賛否が分かれた議案・請願をお知らせします

ほか17議案は全員賛成で原案のとおり可決しました

議員名	審議結果	大戸久一	根岸成美	田中照子	戸口勝	島崎隆夫	笠原規弘	井口亮一	高瀬勉	本多重信	高橋さゆり	山口勝士	五十嵐康博	笹本孝幸	島田康弘	高橋功人	笠原英彦	
小川町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長及び副町長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「日米地位協定の見直しを日本政府に求める意見書」の提出を求める請願	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
パトリアおがわ プール・浴場継続検討を求める請願書	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「(仮称) 笠原・飯田残土処分場事業」計画事業の許可申請が提出された際には「不許可の対処」を求める「意見書」を埼玉県に提出することに関する請願書	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※（○は賛成、×は反対、欠は欠席、討は討論）議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

一般質問とは、議員が町の現在の施策、将来の考え方や説明を町長などに求め、町民のための適切な町政運営を行っているかチェックするものです。

語り継ぐ2020の歴史をつくりましょう

戸口 勝が問う



東京2020に向けた戦略は

答弁 機運醸成・魅力発信します

Q 開催に伴う外国人観光客の増加を、当町への観光及び経済効果に結びつける考えはあるか。

A にぎわい創出課長 開催1年前イベントが開催され、上尾会場及び入間会場に参加し、地酒や和紙、町内各種イベントや地域のPRを行うとともに、和紙の織染め体験を行いました。今後も各種イベントに積極的にかわり、インバウンドの誘客を進めたいと考えています。



和紙すき体験で、外国人観光客の誘客につなげよう。

Q 機運醸成を図るとともに、広い分野で有形・無形のレガシーの構築はあるか。

A 生涯学習課長 パラリンピック聖火リレーに係る採火式と、聖火を当町に持ち帰って大会を祝う聖火ビジットを、機運醸成と次世代に受け継ぐ内容にしたいと思っています。

Q 学校教育において、この貴重な期間をどのように活用するのか。

A 学校教育課長 子供たちに一生の財産として心に残るような機会を提供したいと考えており、オリンピック、パラリンピックの観戦について検討していきます。

初めての避難です。大雨特別警報を聞いて

井口 亮一が問う



避難した1400人超の声は

答弁 さまざまな意見がありました

Q 27カ所の指定緊急避難場所を利用した町民の声は、どのようなものであったか。

A 防災地域支援課長 「避難場所への表示がなく、開設しているのかよくわからなかった」「職員の数足りないのではないか」「職員に親切にしてください」など、さまざまな意見がありました。

Q 避難場所での対応に当たった職員の苦勞は、どのようなことだったか。

A 防災地域支援課長 12日の夕方から職員数をふやして対応を行いました。長時間の業務となり、大勢の避難町民に対応したことから、心身ともに大変であったかと思えます。

産学官連携による調査研究は

Q 町と商工会、金融機関、大学が連携した地域経済とまちづくりは。

A にぎわい創出課長 町は金融機関・商工会・県の物産観光協会と地域経済活性化の取り組みを進め、複数の大学からアドバイスを受け、現在も進行中です。今後各種大学や商工会・金融機関・企業との連携協力を進めます。



ラグビーワールドカップ2019。おもてなしエリアに出店しました。(連携事業)

「生きてこそ…」命が最優先であるべきです

笠原 規弘が問う



激甚化する風水害に水防団の設置を

答弁 消防団がその役割を担っています

Q 防災アドバイザー山村武彦氏は、水害は「点ではなく面で」、つまり河川広域で捉えるべきと提唱している。台風19号接近時、災害対策本部は槻川上流東秩父村の雨量を意識した分析をしていたのか。

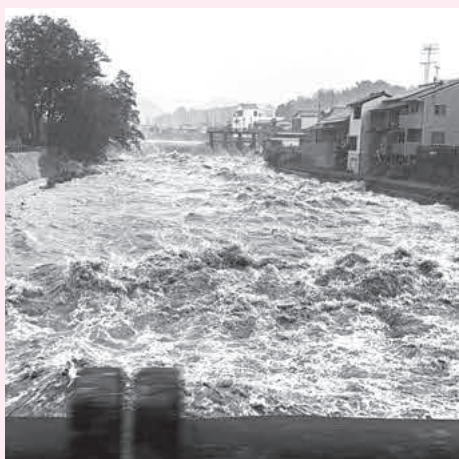
A 防災地域支援課長 気象庁による雨量予測を分析するとともに、東秩父村大内沢やパトリアおがわの雨量計、消防署や消防団による目視等で河川の状態を把握していました。また、近隣町村の防災担当課との綿密な連絡をとっていました。

Q カメラつき電子機器の普及により、多くの方が当町観測史上最強レベルの台風を撮影したのではないかと。町民に提供してもらい「記憶から消えぬよう記録に残す」資料の作成を望むが。

A 防災地域支援課長 写真や動画は貴重な情報になると認識しています。ご提言を受けとめ、今後の防災対策につなげる方策を考えていきます。

Q 河川の増水を見に行き、被害に遭う方が絶えない。河川にカメラを設置し、リアルタイム発信を検討できないか。

A 防災地域支援課長 災害の未然防止につながるよう、槻川など県管理の河川への設置について、県に要望していきます。



みんな自分だけは災害に遭わないと思っている(私も)。(10月12日14時相生橋より撮影)

里山風景
心安らぐ小川町。



(S・Mさん・61歳)

古きと新しさが絶妙に
混ざり合う豊かなまち。



(A・Kさん・30代)

人がやさしく伝統息づく
和紙の里小川町。



(S・Nさん・66歳)

Mini Column

オガワマチのこと
ギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「あなたが考える町の
キャッチコピーは」

高齢者を温かく見守るまちづくりの実現のために

笹本孝幸が問う



高齢者にやさしい 買い物支援対策を

答弁 公共施設での野菜販売は可能です

Q 国道254バイパスの北側に位置する東小川5丁目・6丁目の住民のために、ふれあいプラザ内に野菜の無人販売コーナー設置の可能性は。

A 長生き支援課長 指定管理という条件の中で、町長の許可、管理者との合意が得られれば可能だと思います。

Q 当町内の他公共施設でも実現できれば、高齢者にとって買い物支援になるのでは。

共生を目指し、具体的な活動を提案します

高橋功人が問う



地域スポーツに障害者の参加を

答弁 協会と連携し促進に努力します

Q 障害者の社会参加について、どのように考えているのか。

A 健康福祉課長 障害のある人の社会参加は、地域社会との交流や障害に対する理解が深まることにつながります。東京2020オリ・パラを契機に、地区民体育祭などを町が目指すノー

Q マライゼーション2018の具体的な取り組みの場に行かないか。障害者の生涯スポーツへの参加促進をどのように図るのか。

A 生涯学習課長 町スポーツ協会やレクリエーション協会などと連携し、障害者の参加促進に努力します。

地域防災組織の育成を

Q 各地域では、台風19号発生時の避難や後始末など、防災組織の有無にかかわらずさまざまな行動が見られた。自主防災組織の現状と課題は何か。

A 防災地域支援課長 大雨時の自主防災組織の活動事例を紹介するなど、基本的な活動方法を示す必要があります。また、活動に欠かせない資機材整備に対する補助金、機材の貸し出しなど環境整備を図ります。

次代にツケを残す予算は勘弁してください

高瀬 勉が問う



次年度一般会計における予算編成は

答弁 主に3点の重点分野を定めました

Q 次年度の一般会計に係る予算編成の方針は。

A 政策推進課長 「地方創生の深化」「安全・安心の推進」「都市基盤の整備」の3点を重点分野として決めました。また、編成に係る考え方として、事務事業の選択と集中による歳出の重点化・民間活力の導入・スクラップ&ビルド3による財源の捻出等を掲げています。

Q 第2期地方創生としての事業展開は。

A 政策推進課長 本年度から開始した「おがわ学」への取り組みをはじめ、新たな視点を意識した事業展開を予定しています。

Q 町長が公約として示した事業の進捗は。

A 町長ほか 関連する事業の1つに「駅北側整備事業」があります。これは、町の重点事業と位置づけ取り組んでいるもので、現在は小川高校南側に位置する町道5090号線の拡幅について、県教育局や小川高校と協議しています。また、「防災力の強化」については、消防団第1分団第4部の詰所が、次年度に完成の予定となっています。



地元野菜の無人販売コーナーの設置が期待される東小川のふれあいプラザ。



パトリアおがわでは「障害者レク・スポーツ交流会」が長年続いています。



小川高校南側の町道5090号線。「北口開設」までの道のりは険しい……。

解説 スクラップ&ビルド3

現在行っている事業を精査して、時代的使命を終えた事業や費用対効果の低い事業を廃止（スクラップ）して、今の時代に必要な事業や費用対効果の高い事業を新たに築き上げる（ビルド）こと。

解説 ノーマライゼーション2

障害のある人が障害のない人と同等に生活し、ともにいきいきと活動する社会を目指す理念のこと。町は障害者福祉の向上と地域のノーマライゼーションの実現を図るため、「おがわノーマライゼーション2018」を策定している。



おがわノーマライゼーション2018

協力・共同・町民との信頼関係を大切に！



本多重信が問う

パトリアのプール、風呂存続を

【答弁】健康づくりで医療費を抑制します

Q パトリアのプールや風呂は、介護予防や健康増進、ふれあいの場として求められている。利用者の声を聞いたのか。

A 長生き支援課長 説明会を開催しました。休止理由は、より多くの人に介護予防や健康増進に取り組んでもらえる施設への「転換」が目的です。

Q 「説明会」は町の一方的な「転換」の説明で、町の独断専行との声もある。パトリアの設立主旨に、健康相談・機能回復訓練・レクリエーションなど多様なニーズに応える施設となっている。「転換」は設立主旨にかかわる問題なので、利用者・議会代表・学識経験者等で、検討会議を立ち上げ、慎重に検討すべきではないか。

A 長生き支援課長 「検討会議」を立ち上げ検討する自治体もありますが、今回は当町の施策として決定しました。「説明会」での意見は参考にします。

Q プール、風呂の転換により、町民との信頼関係に影響はないのか。

A 副町長 協力・共同は変わりません。町民と町の信頼関係に影響が出ないように、今後もきちんと進めていきます。

【その他の質問】
・小川町農業の振興と遊休農地対策の推進について ほか



パトリアのプール・風呂の「転換」は、結論ありきからの議論でなく、利用者の声も！

観光のまちづくりには、今ある資源を生かすこと



田中照子が問う

旧二葉支店の活用方法は

【答弁】観光情報発信の拠点にしていきます

Q 総合振興計画では「観光の拠点づくり」が掲げられている。進捗状況は。

A ぎわい創出課長 埼玉伝統工芸会館・和紙体験学習センターを「和紙の拠点」とします。また、伝統工芸会館の「道の駅」機能を強化整備し、「観光の拠点」に位置づけます。さらに、旧二葉支店についても観光情報発信の拠点とし、町内飲食店等への誘導を進めます。

Q 今後、旧二葉支店をどのように生かしていくのか。

A にぎわい創出課長 来年度、必要最小限度朽ちている部分を修繕し、早ければ再来年から事業を開始できるように考えています。今後、利用者のニーズを把握し、運用内容について徐々に拡充していきたいと考えています。

【安全・安心なまちづくりを】

Q 台風19号の災害ごみ処理は迅速な対応が図られたが、課題と対策は。

A 環境農林課長 仮置き場を2カ所設置、中には、災害ごみとは想定しがたい物、夜間に不法投棄も数件ありました。また、廃棄物の分別について徹底を図ることに苦慮しました。災害ごみの最終処分は、民間業者との協定締結も考えていきます。



旧二葉支店は活用してナンボの世界のもの。障子を張り替えただけで蘇った1階の個室。

総合運動場を整備して生涯スポーツの推進を



島田康弘が問う

総合運動場の野球場建設計画は

【答弁】現在、具体的な計画はありません

Q 総合運動場の「野球場計画用地」が現在駐車場などで使われているが、今後の整備計画はどうなっているのか。

A 生涯学習課長 現在「野球場計画用地」については多目的グラウンドの付属施設として、ウォーミングアップ・グラウンドゴルフなどの練習用として貸し出しを行っています。将来の野球場整備に支障ないよう活用を行っています。

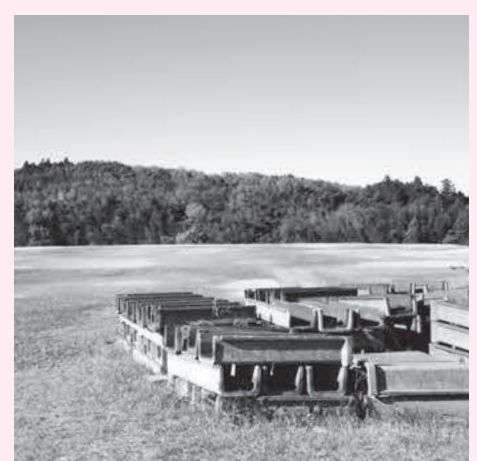
Q 本町には「総合体育館」がない。「第5次総合振興計画」には「体育館の整備を検討する」とあるが、検討されているのか。

A 生涯学習課長 体育館については、かつて「総合体育館建設基本計画検討委員会」がありました。建設には多額の費用を要するため、学校開放による体育館の利用により、生涯スポーツの推進に努めていきたいと思えます。

【小中学校に町費教員の配置を】

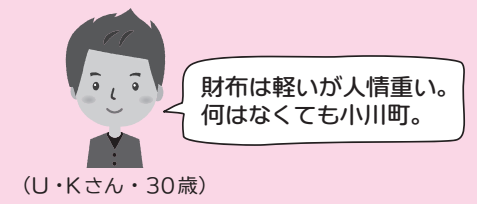
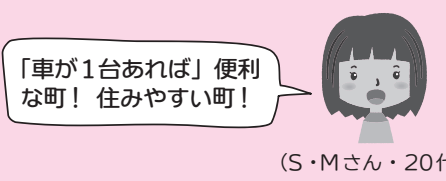
Q クラス人数の多い学級に、町費教員の配置はできないか。

A 学校教育課長 他市町村の状況等を調査し、研究していきます。



総合運動場の「野球場計画用地」は、現在資材置き場や駐車場となっています。

Mini Column
オガワマチのこと
ギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「あなたが考える町のキャッチコピーは」



民間委託料の更新が、形式的になっていないか

笠原英彦が問う



委託を出すまでの選考基準は

答弁 業務仕様に基
づき発注しています

Q 指定管理者に委託を出すまでのプロセス、選考基準は。

A 政策推進課長 審査選定委員会を設置、施設設置条例に基づき、協議検討します。その後、公募を実施し選考基準により候補者を選定しています。

Q 委託内容の検討、実施状況の精査は、どのように実施されているか。

A 政策推進課長 業務終了後に成果物に関する完了検査で、チェックしています。

Q 委託料の占める歳出の総額、割合は。

A 政策推進課長 平成30年度決算は10億2800万円、11・8%です。

県道本小川線バイパスの進展は

Q 当町として、どれだけ本気でどれだけきめ細かく、情報交換や協議を重ねてきたか。

A にぎわい創出課長 定期的に意見交換等実施、それぞれの問題や課題の解決に取り組んでいます。

Q 未着工部分は県の工事範囲と聞いているが、当町としてやるべきことは。建設課長 早期完成に向け、県に協力していきます。



町民みんなが願う。全面開通が待たれる県道本小川線バイパス。

自助を生かすために大切なのは情報の共有！

五十嵐康博が問う



災害発生時のライン確保は

答弁 多様な支援メニューを考えます

Q 指定緊急避難場所の利用に当たっての課題と方向性は。

A 防災地域支援課長 河川沿いの避難場所の見直し・必要な食料などを持つて避難・指定避難所と趣旨の違いの周知・トイレ利用の問題、など避難に支障のないように努めていく予定です。

Q 町内には災害時に燃料供給協定を結んでいる業者が6社ある。資源エネルギー庁の補助制度が継続した場合、停電時でも給油が可能な発電機を備えた住民拠

A 点サービスステーションの登録を促していくことは可能か。

A 防災地域支援課長 6社に有効な支援内容になっているか、確認をしながら調整を図っていきます。

Q 当町の非常時水源設置場所を踏まえ、給水ステーションの設置はできるか。

A 防災地域支援課長 給水ステーションを含め、総合的な支援を考えていきます。

Q 被災され自宅で入浴が困難な方に対して、パトリアのお風呂を無料開放したが、もしお風呂が休止した場合の対策は。

A 防災地域支援課長 町内でお風呂の設備が整った民間施設と、被災者支援協定を結ぶなどを考えていきます。



発電機を備えていて、停電時でも給油可能な住民拠点SSは、近隣には1社もない。

持続可能なまちづくりへ次期の戦術と選術は

島崎隆夫が問う



小川町版総合戦略の方向性は

答弁 関係人口4を増やしていきます

Q 人口増を目指してのぎを削る戦略を練った第1期の地方創生総合戦略が終わる。第2期での構想の基本は、交流人口増から関係人口増だといわれている。全国のように学び、当町版の新しい取り組みに変えていくことを考えては。

A 政策推進課長 第1期で「人口増」を掲げた戦略は厳しい状況です。その中、交流人口をふやしていく取り組みが盛んに行われてきたのが実態でした。今後の第2期では、関係人口の増加を目的にさ

さまざまな施策を展開する必要があります。現在、人口減少の緩やかな抑制を目指すとともに、PDCAサイクル5による事業の適切な見直しをしています。

Q 森林環境譲与税6の施行に伴い、森林を抱える当町にとって、新たな関係人口を生む機会がめぐってきたのでは。

A 環境農林課長 施行により、当町の森林整備が進むと考えます。本年3月には、これに関連して東京都江東区深川に当町の木材を使った川床が誕生しました。今後も施工業者と連携し、資源の有効活用ができるように努めます。

その他の質問

・いつ来るかわからないが、いつかは来る自然災害での対処は



台風で被害を受けた水路。防災時には、住民も職員も相互に助け合う仕組みづくりを。

解説 森林環境譲与税6

平成31年4月に新たに創設した税。森林の間伐や林業の人材育成・担い手確保、木材の利活用推進などに活用される。

解説 PDCAサイクル5

Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)の4段階を繰り返すことによって、事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進め、継続して改善していく手法のひとつ。

解説 関係人口4

移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々のこと。

高齢者こそ元気なまちづくりの中心者だ!

山口勝士が問う



「高齢者が輝くまち」とは

答弁「自身の能力が発揮できる町です」

Q 第5次総合振興計画の基本目標には「人が輝くまち」とあるが、これらのまちづくりにとって重要な「高齢者が輝くまち」とは。

A 長生き支援課長 高齢者が自らの経験を生かし、自主的な地域活動や貢献を積極的に行い、それが高齢者自身の幸福感・充実感につながる取り組みが、町全体に広がっている町と考えます。

Q 高齢化を前向きにとらえ、「高齢者が輝く町計画」を作成し、これからの

まちづくりの観点を明確にしては。

A 長生き支援課長 町では「高齢者福祉計画」を策定しています。その中では地域の団体やボランティアなど、多様な協力を得て地域全体で高齢者を支えるとしています。実態としては、それらの団体やボランティア活動そのものが高齢者によって組織・運営されているものが多く、高齢者が町を支えている比重が大きいといえます。今後は高齢者が「町を支える大きな力」であるという視点を持って、高齢者福祉計画を策定する必要があると考えます。

その他の質問

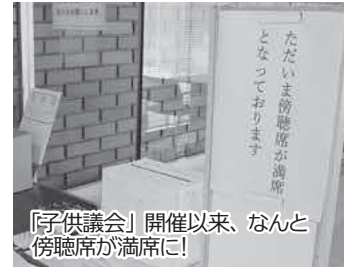
・素敵な図書館の積極的な活動展開を
・「素敵な場所はたくさんあるのに」の声を形に



年齢なんて関係ない! みんなが活躍し支え合うステキな町に(腰中区100歳体操)



2月末頃から閲覧できます

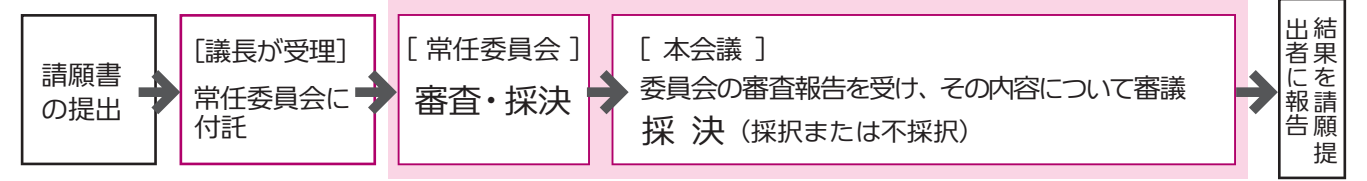


「子供議会」開催以来、なんと傍聴席が満席に!

請願3件を慎重に審査

一度に3件の請願が提出され、12月定例会にて審査を行いました。「賛否両論」議場は緊迫した空気に包まれました。(討論は要約しています。詳しくはQRコードからご確認を)

【請願の流れ】



請願第9号 「日米地位協定の見直しを日本政府に求める意見書」の提出を求める請願 (R1.11.18) <small>(紹介議員) 本多重信・井口亮一</small>	総務常任委員会 「賛成多数」 採択すべき	【反対討論】「日米地位協定」「日米安全保障条約」「憲法」の同時改正こそが請願を叶える最短ルート。単独での改正(見直し)は現実的にできない。 【賛成討論】米軍機による低空飛行訓練は、平和、平穏、安全、安心に暮らす住民の権利を脅かしている。自治体が声を上げることで、「見直し」の機運を高める。 本会議では…賛成少数により「不採択」
請願第10号 パトリアおがわプール、浴場継続検討を求める請願 (R1.11.18) <small>(紹介議員) 井口亮一</small>	厚生文教常任委員会 「賛成少数」 不採択とすべき	【反対討論】近隣自治体にはない魅力のある施設で人を呼び込むべきだ。また、どのように運営すれば継続できるのか、利用者を交えての再検討を望む。 【賛成討論】利用者に安全・快適に使用してもらうには多額の維持費がかかる。だからこそ「今、ここで」施設転換の判断をすべきだ。 本会議では…賛成多数により「不採択」
請願第11号 「(仮称)笠原・飯田残土処分場事業」計画事業の許可申請が提出された際には「不許可の対処」を求める「意見書」を埼玉県に提出することに関する請願書 (R1.11.19) <small>(紹介議員) 笠原英彦・根岸成美・戸口勝</small>	経済建設常任委員会 「賛成皆無」 不採択とすべき	【反対討論】当該事業者は太陽光発電事業へと事業転換を示唆しているが、残土が持ち込まれる脅威を拭い去ることはできない。町の姿勢を県に示すべきだ。 【賛成討論】許可権者の県に対し議会が要望書を提出するには、現状と今後の計画を正確に把握しなければならない。 本会議では…賛成多数により「不採択」

※()内の日付は請願受理日

小川町が好きだからその一言



小出文男さん(池田) KOIDE Fumio

「**昨**今、道の駅が全国で続々と誕生し、各地の重要な観光スポットとしてそのにぎわいを見せている。それに比し、当町に設置された道の駅は、地元にと多くの観光資源を有しながらもいわゆる道の駅としての施設が小規模であり、またその提供するサービスも多くの観光客を呼び込むにはやや魅力に欠ける部分があるのではなかろうか。小川町でも最近では各種イベントを開催するなど町おこしに向けた活発な動きがなされており、これらイベントは相応の成果をおさめていると思料されるが、町を根本的に活性化させるには、それらに加えて期日ないしは期間限定ではなく常時、観光客を呼び込むことのできる人気施設が必要である。「道の駅おがわまち」には、こうした役割を積極的に果たしていくことを期待したい。」

わたしのコメント

社会科見学や宿泊学習など、小学校の校外学習で訪れる田舎町。そんなイメージを抱いていた小川町に嫁ぎ、14年になります。子育てを楽しむ暮らしの中、いろいろな小川町を発見することができました。豊かな自然や歴史ある町並みなど、県内外からたくさんの子供がイメージを抱き、学習に訪れています。私たちが住む小川町が学校の教材として扱われていることは、ほかの市町村にはない魅力、誇れることだと気づかされます。先日、都内でコース料理を注文すると、初めに「小川町産の有機野菜を使用した蒸し料理」が並びました。都会のレストランも認める小川町の資源(野菜)を、とてもうれしく思いました。ほかにもたくさんの誇れるものがある小川町。もっと発信して、もっと元気な小川町にしたいです。

子育てを楽しんでいます



宮寺麗子さん(春日町) MIYADERA Reiko

請願 採択の基準は? 一般的には「願意が妥当であるか」「実現の可能性はあるか」「町の権限、議会の権限に属する事項であるか」等が、その判断基準とされている。(議員必携)より抜粋

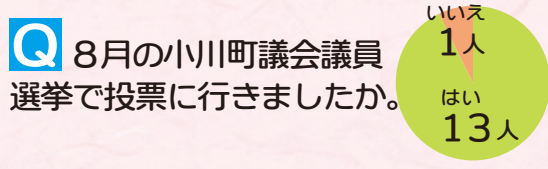
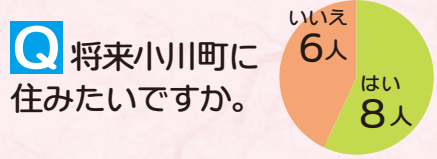
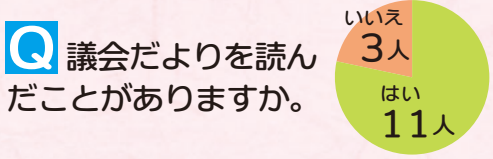




議員の聞く×つなぐ町の声

成人式
実行委員会

令和になって初めて迎えた成人式。273人が新たな大人の仲間入りをしました。今回は、成人式実行委員会の皆さんが成人式の準備をしているところにおじゃまをして、14人に聞きました。



この際、言わせて!

- ・若者が集まるような娯楽施設が少ない。
- ・七夕祭り楽しいです。
- ・小川町ありがとう! 小川町最高~
- ・商店街? みたいな所の活気がない。
- ・若者の人口流出何とかしろ!
- ・町民も町民以外も楽しめるような、町の活性化を!
- ・Fight
- ・小川町の議員さんは何をしているのでしょうか? 小川町を見て、具体的な変化が感じられません。
- ・好きです。

(原文のまま掲載しています)

ご協力ありがとうございました



傍聴からはじめよう!!

どなたでも傍聴できます (事前連絡は不要です) 役場3階にお越しください

次回定例会は
3月2日(月)~
開会は**10時**です



傍聴席の定員は40人

・今号の表紙・

高谷の森でツリークライミング教室

安全ベルト装着。いざ木の上へ!!
ロープを輪っか状にし、足をひっかけて立ち上がることで徐々に上に登って行きます。
子どもたちの元気な笑い声が森の中に響き渡りました。



編集後記

1月1日に行われたニューイヤー 駅伝に執行部と議員の有志でHondaの応援に行ってきました。4区を走った設楽悠太選手は一瞬で通過しましたが、からっ風に負けない熱い声援を送り、見事にHondaは3位でした。今号から表紙写真の説明と一般質問には答弁見出しを加えました。年末から編集委員は議会報の宿題を抱えて新年を迎えました。今年も手に取って読んでいただけるよう、冒険に挑戦していきます。(高橋さゆり)

発行責任者：小川町議会議長 大戸久一

編集：議会広報発行特別委員会
委員長 高橋さゆり 副委員長 笠原規弘
委員 笠原英彦・高橋功人・笹本孝幸・五十嵐康博

gikai information

Editors Note

